

# 日本病院会の通信教育

日本病院会の先駆的事業として1972年に開始した診療情報管理士の通信教育による養成は、時代の変遷とともに診療情報管理の能力を備えた職種の確立といえます。この半世紀の歴史の中で4万人の診療情報管理士を全国に輩出してきました。近年、医療の質評価や医療経営、施設の運営管理にも寄与する極めて重要な業務であると改めて期待されています。いつでもどこでも最新の情報を受講できるように完全e-ラーニング化し、より多くの医療のプロを目指す皆さんに応えています。



通信教育専用Webサイト

## 医師事務作業補助者

医師の働き方改革における取り組みの中で、医師事務作業補助者として専門的な教育を受けた事務職員を配置することは急務であり、医療の質向上にもつながると期待されています。

医師の事務業務を軽減

TOPICS



e-ラーニング



通年申込



体制加算32h  
研修該当



レポート/試験無



修了証

■対象者  
医師事務作業補助業務に就いている者  
医師事務作業補助業務に就く予定や希望のある者

申込  
・Web(通年)  
・30,000円税込

受講  
・45日間(視聴可能)  
・PC/タブレット

修了  
・履修完了後随時  
修了証郵送

研修項目

1. 医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護
2. 診療支援業務と配置部署における診療の流れ
3. 医療情報システムと電子カルテ(診療録の記載・管理・がん登録含む)
4. 保険診療概要
5. 医師法、医療法、健康保険法等の関連法規の概要
6. 医学一般と感染対策
7. 医療安全
8. 薬剤の基礎知識(処方せん)の知識
9. 検査一般の知識
10. 診断書・証明書等の実務

申込URL



\*医師事務作業補助体制加算の取得には、医師事務作業補助者を配置後6ヶ月間業務内容の研修実施が必要です。

## 診療情報管理士 (Health Information Manager)

診療情報管理士は、医師や看護師、メディカルスタッフなど医療に関わる全職種が共有する診療情報を管理し、チーム医療を支える専門職種です。医療機関内の診療情報を収集・分析・管理し、医療現場をサポートします。その知識は、情報システムの導入や病院経営の改善など、幅広い分野で必要とされています。AIによる仕事の代替が進む中でも、多職種との連携が不可欠であり、今後ますます求められています。

医療系技術職を目指す

TOPICS



e-ラーニング



編入制度有



Web 試験



修了証



修了証  
医師事務作業補助者※2

■受講資格  
原則として2年制以上の短期大学または専門学校卒以上の学歴を有する者。ただし、現在病院に勤務している者は、当分の間、高卒者でもよい。

■編入制度有  
医療系国家資格保有者(一部を除く)は基礎課程の受講免除

基礎課程

申込  
・Web(4月/10月)  
・110,000円税込

受講  
・1年間(7月~1月~)  
・PC/タブレット

科目試験

専門課程

進級  
・110,000円税込

受講  
・1年間(7月~1月~)  
・PC/タブレット

科目試験

修了  
・修了証郵送

診療情報管理士通信教育修了者は、日本病院会が実施する診療情報管理士認定試験を受験することができます。

診療情報管理士 認定試験 (毎年2月)

認定

カリキュラム  
基礎課程12科目

- ①医療概論
- ②人体構造・機能論
- ③臨床医学総論(外傷学、先天異常等含む)
- ④臨床医学各論Ⅰ(感染症および寄生虫症)
- ⑤臨床医学各論Ⅱ(新生物)
- ⑥臨床医学各論Ⅲ(血液・代謝・内分泌等)
- ⑦臨床医学各論Ⅳ(精神・脳神経・感覚器系等)
- ⑧臨床医学各論Ⅴ(循環器・呼吸器系)
- ⑨臨床医学各論Ⅵ(消化器・泌尿器系)
- ⑩臨床医学各論Ⅶ(周産期系)
- ⑪臨床医学各論Ⅷ(皮膚・筋骨格系等)
- ⑫医学・医療用語

専門課程12科目

- ①医療管理総論
- ②医療管理各論Ⅰ(病院管理)
- ③医療管理各論Ⅱ(医療保険・介護保険制度)
- ④医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)
- ⑤保健医療情報学
- ⑥医療統計Ⅰ(統計理論)
- ⑦医療統計Ⅱ(病院統計・疾病統計)
- ⑧診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)
- ⑨診療情報管理Ⅱ(診療情報管理士の実務)
- ⑩診療情報管理Ⅲ(DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務)
- ⑪国際統計分類Ⅰ
- ⑫国際統計分類Ⅱ

## DPCコース

DPC病院やデータ加算等で求められるDPCコーディングやデータベース構築、データ分析方法をe-ラーニングで具体的に学びます。

DPCにおける基礎応用の習得

TOPICS



e-ラーニング



診療情報管理士  
同時受講可



修了証

■対象者  
1. 診療情報管理士の認定を有する者  
2. 診療情報管理士通信教育の修了者および受講者  
3. 指定大学・指定専門学校で所定の単位を履修した卒業者および履修中の者  
※2,3の者は診療情報管理士の認定をもって本コースを修了

申込  
・Web(8月~9月)  
・30,000円税込

受講  
・3ヶ月間(11月~1月)  
・PC/タブレット

修了  
・診療情報管理士認定及びDPCコース修了にて  
修了証郵送

研修科目

1. 診断群分類の基礎(DPC制度、診断群分類の仕組み)
2. 診断群分類の実務(診療情報管理、コーディング、精度管理、実務)
3. 診断群分類を活用した分析Ⅰ・Ⅱ(データ分析(分析の基礎、プロセス、マーケティング、コスト))

## 腫瘍学分類コース

診療情報管理士が腫瘍に対する幅広い知識を学習することを目的としたコースです。各臓器の解剖や病理などの医学的知識のほか、病期分類、診療記録からの情報抽出やデータ活用等を3ヶ月間e-ラーニングでの授業と練習問題で繰り返し学べます。

実務実践で求められるがん知識を取得

TOPICS



e-ラーニング



高度な  
専門性向上



修了証

■対象者  
診療情報管理士の認定を有する者

申込  
・Web(4月~5月)  
・50,000円税込

受講  
・3ヶ月間(7月~9月)  
・PC/タブレット

修了  
・修了証郵送

研修科目

1. 腫瘍学総論 新生物の分類とがん登録
2. ICD-Oと病期分類(UICC、規約)
3. 各臓器、腫瘍の各論(治療、病理) 消化器(頭頸部、食道・胃・大腸、肝・胆・膵)、呼吸器、骨・軟部組織、血液・造血器、乳房・女性生殖器、男性生殖器(前立腺・膀胱)
4. がん診療に沿った診療記録の読み方、情報の抽出、演習
5. データ活用

